

議会運営委員会等の先進議会調査報告

議会運営委員会及び議会広報特別委員会が先進議会の調査を行いました。

9月定例会で各委員会から報告書が提出されましたので、その概要についてお知らせします。

議会運営委員会

愛知県知立市【7月31日】 ▼議会改革

知立市議会では、平成22年に議会改革特別委員会を設置。市民アンケートの実施や、議会基本条例案に対する市民の意見募集などを経て、「市民に開かれた議会」、「議員が行動する議会」、「議員が議論する議会」を柱とした議会基本条例を25年3月に制定した。

政治、行政に無関心な市民が多い中で、知立市議会では自ら市民の側に向いて報告を行い、行政と議会について説明するなど、積極的に議会改革に取り組んでいる。また、政策討論会では、プロジェクトチームを立ち上げ、「知立市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基にした政策提言書を作成し、28年6月に知立市長に提出した。岩沼市議会においても、市民に開かれた議会を目指し、議会が身近なものになるように、常任委員会方式による懇談会、報告会や出前講座などを検討すべきである。

愛知県豊明市【8月1日】 ▼議会運営・議会改革

豊明市議会では27年6月に議会改革推進協議会を設置し、議会改革に取り組んでいる。

議会報告会は年1回以上開催することとし、また、市民との情報共有の場として、報告会に合わせて広聴会を実施し、報告会及び広聴会の2部構成で運営している。

豊明市議会では採用している通年議会は、休会中であっても議長の権限で会議を再開することができ、各常任委員会等の審査日程の設定にも柔軟に対応することが可能となる。議案審査や所管事項調査の日数が増えることで政策立案、行政監視の強化につながるメリットがあるものの、緊急時の議会開催の日程調整等の議会運営の難しさも予想される。岩沼市議会としては、他議会の議会運営および議会改革の取組を積極的に参考にしながら、市民にとって役に立つ議会となるように、新たな議会改革について考えていくべきである。

議会広報特別委員会

秋田県横手市【8月19日】 ▼議会中継と他情報発信

横手市議会では、議会の情報発信への新たな取組に対して、当たり前のように取り組んでいることが印象に残った。議会広報にはネット中継にリンクするQRコードを議員ごとに貼り付けるなど、アクセス向上への取組にも工夫が見られた。また、ラジオ「横手かまくらFM」では市議会紹介番組を年に24回放送し、市民から高い評価を受けている。

岩沼市では、始まったばかりの録画中継のアクセス数のアップを目指すことが必要と考える。現在のアクセス数などの状況を見て、ライブ中継導入の判断がされるが、導入という成果ばかりを求めて、早急な判断をするよりは、既に録画中継がされている点を考え、しっかりとした土台（録画中継のアクセス数アップなど）の構築を現在の費用で行うとともに、どのような発信が効果的なのか、また費用対効果が高いのか研究する必要があると考える。

山形県寒河江市【8月20日】 ▼議会中継・議会だより

寒河江市議会では平成23年度から業者委託によりライブ配信、録画配信を開始した。29年度からはスマホやタブレットでも視聴可能となり、ライブ配信、録画配信も万単位のアクセス数になっており、議会への関心の高さを感じた。議場内会議システムとインターネット映像配信システムの一体整備、機材操作の簡略化が課題となっている。

議会基本条例に基づき、開かれた議会、親しみやすい議会にしていくために、岩沼市議会でも昨年12月定例会から議会映像の録画配信をしているが、配信開始時よりアクセス数が減少しており、議会への関心をいかに高めるかが課題と考える。ホームページ、フェイスブック、議会広報などを活用して市民に関心を寄せたいだけでなく工夫が必要である。議会だよりの連動により（議会だよりの一般質問者にQRコードを貼り付けるなど）、アクセス数の増加につなげることは可能と考える。